

NetCOBOL V10.3.0



リリース情報

Linux(64)

J2UL-1339-02Z0(00)
2012年4月

まえがき

本書は、NetCOBOLのリリース情報について説明します。



NetCOBOLシリーズの最新情報は、富士通のサイト「富士通ソフトウェア情報」<<http://software.fujitsu.com/jp/>>にある「NetCOBOLシリーズ」<<http://software.fujitsu.com/jp/cobol/index.html>>で公開しています。ご参照ください。

製品の呼び名について

本書に記載されている製品の名称を、以下のように略して表記します。

正式名称	略称
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for Intel64) Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6 (for Intel64)	Linux
Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition operating system SP3 Microsoft(R) Windows(R) XP Professional operating system SP3	Windows XP
Windows Vista(R) Home Basic Windows Vista(R) Home Premium Windows Vista(R) Business Windows Vista(R) Enterprise Windows Vista(R) Ultimate	Windows Vista
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Foundation Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter without Hyper-V(TM) Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Foundation Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008
Windows(R) 7 Home Premium	Windows 7

正式名称	略称
Windows(R) 7 Professional	
Windows(R) 7 Enterprise	
Windows(R) 7 Ultimate	

- 「Linux」64ビットモードを指す場合は「Linux(64)」と表記します。
- 「Windows XP」、「Windows Server 2003」、「Windows Vista」、「Windows Server 2008」および「Windows 7」をすべて指す場合は、「Windows」または「32ビットWindows」と表記します。

本書の目的

本書は、旧版からの機能追加、障害修正、およびそれらに伴う互換に関する情報を説明しています。

旧版を使用していたお客さまが、より円滑に本製品に移行できることを目的としています。

本書の対象読者

旧製品を導入されており、本製品への移行を検討されている方、あるいは移行中の方を対象としています。

本書の位置づけ

本書は、機能追加、障害修正、およびそれらに伴う互換に関する情報を説明していますが、断片的な情報ですので、全体像、あるいは詳細な情報はそれぞれのプログラムのマニュアルを参照してください。

関連マニュアル

この製品および関連製品のマニュアルには、本書の他に以下のマニュアルがあります。

- NetCOBOL V10.3 COBOL 文法書
- NetCOBOL V10.3 使用手引書
- NetCOBOL V10.2 COBOL ファイルアクセスルーチン使用手引書
- NetCOBOL V10.3 メッセージ説明書
- NetCOBOL V10.1 例題プログラム
- NetCOBOL V10.3 Migration CJC for INTARFRM 連携機能運用ガイド
- MeFt V10.3 ユーザーズガイド
- MeFt V10.2 メッセージ集
- Jアダプタクラスジェネレータ V10.2 使用手引書
- MeFt/Web V10.3 説明書
- SIMPLIA/TF-MDPORTオンラインマニュアル
- PowerSORT V6.0 ユーザーズガイド

登録商標について

UNIXは、The Open Groupが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

X Window System は、X Consortium, Inc の商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Microsoft、Windows、Windows ServerおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

HP およびHP-UX は、米国Hewlett-Packard Company の商標です。

その他の会社名または製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとり下さい。

お願い

- ・ 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- ・ 本書は予告なしに変更されることがあります。

2012年4月

Copyright 2009-2012 FUJITSU LIMITED

目次

第1章 追加機能の概要	1
1.1 NetCOBOLの追加機能概要	1
1.1.1 NetCOBOL V10の追加機能概要	1
1.2 MeFtの追加機能概要	3
1.2.1 MeFt V10の追加機能概要	3
1.3 Jアダプタクラスジェネレータの追加機能概要	3
1.3.1 アダプタクラスジェネレータ V10の追加機能概要	3
1.4 MeFt/Webの追加機能概要	4
1.5 SIMPLIA/COBOL支援キット	4
1.5.1 SIMPLIA/TF-LINDA	4
1.5.2 SIMPLIA/TF-MDPORTの追加機能概要	4
1.6 PowerSORTの追加機能概要	4
第2章 互換に関する情報	6
2.1 NetCOBOL開発環境の互換に関する情報	6
2.1.1 環境変数LD_LIBRARY_PATHに設定するInterstage Charset Managerの格納ディレクトリ名の変更	6
2.1.2 障害修正に関する互換情報について	6
2.2 NetCOBOL運用環境の互換に関する情報	8
2.2.1 障害修正に関する互換情報について	8
2.3 MeFtの互換に関する情報	9
2.3.1 障害修正に関する互換情報について	9
2.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境の互換に関する情報	11
2.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境の互換に関する情報	11
2.6 MeFt/Web	11
2.7 SIMPLIA/COBOL支援キット	12
2.8 PowerSORTの互換に関する情報	12
2.8.1 障害修正に関する互換情報について	12
第3章 プログラム修正一覧	13
3.1 NetCOBOL開発環境のプログラム修正一覧	13
3.2 NetCOBOL運用環境のプログラム修正一覧	14
3.3 MeFtのプログラム修正一覧	15
3.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境のプログラム修正一覧	17
3.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境のプログラム修正一覧	17
3.6 MeFt/Web	17
3.7 SIMPLIA/COBOL支援キット	17
3.8 PowerSORTのプログラム修正一覧	17

第1章 追加機能の概要

ここでは、本バージョン・レベルで追加された機能の概要と内容を説明します。

1.1 NetCOBOLの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.1.1 NetCOBOL V10の追加機能概要

表1.1 NetCOBOL V10の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.3.0	Migration CJC for INTARFRM 連携機能	既存のCOBOL資産から高い互換性を維持したまま、Javaと連携したインターネット対応システムを構築することができるようになりました。	◆Migration CJC for INTARFRM 連携機能運用ガイド
2	V10.3.0	MeFt/Web	表示ファイル機能で、MeFt/Webと連携できるようになりました。	◆使用手引書 ・ 第8章 画面を使った入出力 ◆MeFt/Web説明書
3	V10.2.0	ファイルの高速処理の一括指定サポート	レコード順・行順ファイルに有効となるファイルの高速処理(BSAM)機能を一括して指定できるようになりました。	◆使用手引書 ・ 6.8.1.2 ファイルの高速処理
4	V10.2.0	DISPLAY文のシスログ出力サポート	DISPLAY文の出力先として、シスログを指定できるようになりました。	◆使用手引書 ・ 10.1 小入出力 ・ 付録E 環境変数一覧 — CBR_DISPLAY_CONSOLE_OUTPUT(DISPLAY UPON CONSOLEのシスログ出力指定) — CBR_DISPLAY_SYSERR_OUTPUT(DISPLAY UPON SYSERRのシスログ出力指定) — CBR_DISPLAY_SYSOUT_OUTPUT(DISPLAY UPON SYSOUTのシスログ出力指定) — CBR_DISPLAY_CONSOLE_SYSLOG_LEVEL(DISPLA

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
				<p>Y UPON CONSOLEのシスログ出力時のレベル指定)</p> <ul style="list-style-type: none"> — CBR_DISPLAY_SYSERR_SYSLOG_LEVEL(DISPLAY UPON SYSERRのシスログ出力時のレベル指定) — CBR_DISPLAY_SYSOUT_SYSLOG_LEVEL(DISPLAY UPON SYSOUTのシスログ出力時のレベル指定) — CBR_DISPLAY_CONSOLE_SYSLOG_SRCNAME (DISPLAY UPON CONSOLEのシスログ出力時のアイデンティティ名指定) — CBR_DISPLAY_SYSERR_SYSLOG_SRCNAME (DISPLAY UPON SYSERRのシスログ出力時のアイデンティティ名指定) — CBR_DISPLAY_SYSOUT_SYSLOG_SRCNAME (DISPLAY UPON SYSOUTのシスログ出力時のアイデンティティ名指定)
5	V10.2.0	CHECK機能抑止の実行時オプションサポート	<p>CHECK機能を抑止する下記の実行時オプションをサポートしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • nocb : CHECK(BOUND) • noci : CHECK(ICONF) • nocn : CHECK(NUMERIC) • nocp : CHECK(PRM) 	<p>◆使用手引書</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4.2.2 実行時オプションを指定する
6	V10.2.0	TRACE機能抑止の実行時オプションサポート	<p>TRACE機能を抑止する実行時オプション"nor"をサポートしました。</p>	<p>◆使用手引書</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4.2.2 実行時オプションを指定する
7	V10.2.0	トレース情報ファイルのマルチプロセスサポート	<p>トレース情報ファイルをプロセス毎に出力できるようになりました。</p>	<p>◆使用手引書</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5.2.2 トレース情報
8	V10.2.0	シフトJISサポート (注)	<p>COBOLプログラムのデータをシフトJISで扱うアプリケーションの作成機能を提供しました。</p>	<p>◆使用手引書</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第24章 シフトJIS資産の活用

注:

シフトJISを扱うアプリケーションを動作させる場合、関連するソフトウェアは下表の製品をお使いください。下表以外との組み合わせは、動作を確認していません。

項番	製品名	バージョンレベル
1	MeFt	V10.2.0以降

項番	製品名	バージョンレベル
2	PowerSORT	V6.0.0以降
3	SIMPLIA/TF-LINDA	V50L41以降
4	SIMPLIA/TF-MDPORT	V5L6
5	Interstage Charset Manager	V9.1.1以降
6	Interstage Application Server	V10.0.0以降
7	Interstage List Creator Enterprise Edition (e-Doc Generator:PDF出力)	V9.1.0以降
8	Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition	V13.3.0以降
9	PrintWalker/LXE または PrintWalker/LXE-EX	V15L11以降
10	Pro*COBOL	11.2.0

1.2 MeFtの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.2.1 MeFt V10の追加機能概要

表1.2 MeFt V10の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.3.0	IPv6サポート	IPv6のネットワーク環境で利用できるようになりました。	◆ユーザーズガイド ・ 1.5 エンハンス機能
2	V10.2.0	文字コード追加	利用者プログラムの文字コード系にシフトJISを追加しました。	◆ユーザーズガイド ・ 1.5 エンハンス機能

1.3 Jアダプタクラスジェネレータの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.3.1 アダプタクラスジェネレータ V10の追加機能概要

表1.3 Jアダプタクラスジェネレータ V10の追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V10.2.0	シフトJISサポート	COBOLプログラムのデータをシフトJISで扱うアダプタクラスの作成機能を提供しました。	◆Jアダプタクラスジェネレータ使用手引書 ・ 3.4 Unicode環境で動作するシフトJISアプリケーション

1.4 MeFt/Webの追加機能概要

NetCOBOL V10.3.0 から、MeFt/Webを提供します。

MeFt/Webは、以下の製品に含まれています。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

1.5 SIMPLIA/COBOL支援キット

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

1.5.1 SIMPLIA/TF-LINDA

表1.4 SIMPLIA/TF-LINDAの追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V50L70 (V10.3.0)	IPv6サポート	IPv6のネットワーク環境をサポートしました。	-
2	V50L70 (V10.3.0)	利用者定義変換テーブル	利用者定義変換テーブルを使用したデータ変換をサポートしました。	
3	V50L70 (V10.3.0)	ディレクトリ/ファイル名リストボックス	表示可能な項目数を999から32767に拡張しました。	-
4	V50L70 (V10.3.0)	レコード形式画面 /一覧形式画面	以下の操作をサポートしました。 <ul style="list-style-type: none">• Unicode 文字によるデータの入力• JEF 拡張漢字の表示と入力• 印刷時のユーザ指定フォントの保存	-

注) ()内のバージョンはNetCOBOLシリーズでのバージョンレベルを示します。

1.5.2 SIMPLIA/TF-MDPORTの追加機能概要

表1.5 SIMPLIA/TF-MDPORTの追加機能概要

項番	V/L	機能名	内容	マニュアルの記載場所
1	V5L6 (V10.3.0)	シフトJISサポート	Unicodeロケール環境におけるシフトJISのCOBOLファイル変換をサポートしました。	SIMPLIA/TF-MDPORT オンラインマニュアル • 3.1.2 オペランド

注) ()内のバージョンはNetCOBOLシリーズでのバージョンレベルを示します。

1.6 PowerSORTの追加機能概要

ここに記載する情報は、以下の製品に関するものです。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

追加機能はありません。

第2章 互換に関する情報

ここでは、以前のバージョン・レベルから変更された互換に関する情報を記載します。

2.1 NetCOBOL開発環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

2.1.1 環境変数LD_LIBRARY_PATHに設定するInterstage Charset Managerの格納ディレクトリ名の変更

変更内容

V10.2.0以降で、コンパイラが使用するInterstage Charset Managerのライブラリが変更になりました。

ライブラリの変更によって、従来翻訳できていたプログラムの翻訳時に、翻訳時メッセージJMN1671I-Sなどが出力される場合があります。

JMN1671I-S 登録集原文の組込み中に入出力エラーが発生しました。登録集原文の組込みを中止します。

翻訳時メッセージが出力された場合は、環境変数の設定を確認してください。



参照

“メッセージ説明書”の“JMN1671I-S”

対処方法

環境変数LD_LIBRARY_PATHにInterstage Charset Managerの64ビット版ライブラリの格納ディレクトリを指定してください。



例

LD_LIBRARY_PATH=/opt/FSUNiconv/lib64

2.1.2 障害修正に関する互換情報について

ここでは、NetCOBOL開発環境について、NetCOBOL V10.2.0以降で修正された障害により動作が変わるものを、下表で説明します。

表2.1 NetCOBOL開発環境の障害修正に関する互換情報

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
1	V10.1.0	PG75097	以下の環境・発生条件の場合、Windows版 NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能を使用して、Red Hat Enterprise Linux (for Intel64)上で動作するCOBOLアプリケーションに対するリモートデバッグを開始する際、「デバッガ本体部またはエンジン部でエラーが発生しました。(65535)」が表示され、デバッグを開始できないことがある問題を修正しました。 [環境] NetCOBOLのリモート開発において、サーバ環境が以下に該当する場合、本現象が発生します。 1. サーバがRed Hat Enterprise Linux (for Intel64)である。かつ、

項番	V/L(*)	P番号	変更内容								
			<p>2. サーバに、以下のいずれかの製品がインストールされている。かつ、</p> <ul style="list-style-type: none"> － Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージV10.1.0 － Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージV10.1.0 <p>3. サーバ上で使用しているgdbが7.0版以降である(RHEL5.5以降をインストールしている場合、またはgdb-7.0以降を単独でインストールしている場合が該当します)。</p> <p>[発生条件] COBOLアプリケーションを、Windows版 NetCOBOL Studioからリモートデバッグする場合。</p>								
2	V10.1.0	PG78440	<p>以下の条件の場合、実行時に、正しい結果が得られないことがある問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 翻訳オプションBINARY(BYTE)またはBINARY(WORD,MLBOFF)が指定されている。かつ、 2. 以下の組み込み関数が存在する。かつ、 <p>[A]</p> <ul style="list-style-type: none"> － FUNCTION MAX － FUNCTION MIN － FUNCTION MEAN － FUNCTION MEDIAN － FUNCTION RANGE <p>[B]</p> <ul style="list-style-type: none"> － FUNCTION ANNUITY － FUNCTION NUMVAL － FUNCTION NUMVAL-C － FUNCTION RANDOM <ol style="list-style-type: none"> 3. 2.の関数の引き数が、全て9桁以下の固定小数点数字である。かつ、 4. 2.の関数が[A]の場合、引き数が4つ以上指定されている場合。 								
3	V10.1.0	PG77383	<p>以下の条件の場合、実行時に、正しい結果が得られないことがある問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 翻訳オプションOPTIMIZEが有効である。(*1)かつ、 2. 内部10進項目を数字編集項目へ設定している文を記述している。かつ、 3. 内部10進項目と数字編集項目のけた数は、「整数部のけた数が同じ、かつ、小数部がない」である。かつ、 4. 数字編集項目は、編集方法にゼロ抑制のみを指定している(PICTUREの文字列には'9','Z','*'のみを使用している)。かつ、 5. 2.の文の前に、データ項目(または中間結果)を2.の内部10進項目へ設定する文(*2)を記述している。かつ、 6. 5.のデータ項目(または中間結果)のけた数と2.の内部10進項目のけた数の関係が次のようになっている。かつ、 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="border: none;">データ項目 (または中間結果)</th> <th style="border: none;">内部10進項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none; text-align: center;">2</td> <td style="border: none; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="border: none; text-align: center;">4</td> <td style="border: none; text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="border: none; text-align: center;">6</td> <td style="border: none; text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>	データ項目 (または中間結果)	内部10進項目	2	3	4	5	6	7
データ項目 (または中間結果)	内部10進項目										
2	3										
4	5										
6	7										

項番	V/L(*)	P番号	変更内容										
			<table border="1"> <tr> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>7. 5.のデータ項目(または中間結果)と2.の内部10進項目の両方に小数部がない。</p> <p>*1: デフォルトの翻訳オプションはOPTIMIZEです。</p> <p>*2: 数字転記はMOVE文だけでなく、COMPUTE文などの暗黙に転記が発生する場合も該当します。</p>	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	9												
10	11												
12	13												
14	15												
16	17												

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

2.2 NetCOBOL運用環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

2.2.1 障害修正に関する互換情報について

ここでは、NetCOBOL運用環境について、NetCOBOL V10.2.0以降で修正された障害により動作が変わるものを、下表で説明します。

表2.2 NetCOBOL運用環境の障害修正に関する互換情報

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
1	V10.1.0	PG72597	<p>以下の条件の場合、NetCOBOL V10.1.0では、実行時にWRITE AFTER ADVANCING PAGEの実行が有効となりませんでした。NetCOBOL V10.2.0以降は、障害修正により正しく動作するようになりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行順ファイルで外部ファイルハンドラと連携している。かつ、 2. 1.に対するOPEN文の実行直後にAFTER ADVANCING PAGE指定のWRITE文を実行している。
2	V10.1.0	PG73346	<p>以下の条件の場合、NetCOBOL V10.1.0では、実行時に実行時メッセージJMP0320I-I/Uに埋め込まれる8桁の16進文字の下位4桁に不要なゼロ列が設定される問題がありました。NetCOBOL V10.2.0以降は、障害修正により正しく動作するようになりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. COBOLファイルシステム(注)を使用したファイル操作を行っている。かつ、 2. 以下のいずれかの入出力文を実行している。かつ、 <ul style="list-style-type: none"> — READ文 — WRITE文 — REWRITE文 — DELETE文 — START文

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
			3. 2.の入出力文の実行が失敗した。 注:ファイルの高速処理(BSAM)を指定している場合、該当しません。
3	V10.1.0	PG75097	以下の環境・発生条件の場合、NetCOBOL V10.1.0では、Windows版 NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能を使用して、Red Hat Enterprise Linux (for Intel64)上で動作するCOBOLアプリケーションに対するリモートデバッグを開始する際、「デバッガ本体部またはエンジン部でエラーが発生しました。(65535)」が表示され、デバッグを開始できない問題がありましたが、NetCOBOL V10.2.0以降は、障害修正により正しく動作するようになりました。 [環境] NetCOBOLのリモート開発において、サーバ環境が以下に該当する場合、本現象が発生します。 1. サーバがRed Hat Enterprise Linux (for Intel64)である。かつ、 2. サーバに、以下のいずれかの製品がインストールされている。かつ、 - Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージV10.1.0 - Linux Intel64版 NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージV10.1.0 3. サーバ上で使用しているgdbが7.0版以降である(RHEL5.5以降をインストールしている場合、またはgdb-7.0以降を単独でインストールしている場合が該当します)。 [発生条件] COBOLアプリケーションを、Windows版 NetCOBOL Studioからリモートデバッグする場合。

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

2.3 MeFtの互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

2.3.1 障害修正に関する互換情報について

ここでは、MeFtについて、NetCOBOL V10.2.0以降で修正された障害により動作が変わるものを、下表で説明します。

表2.3 MeFtの障害修正に関する互換情報

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
1	V10.1.0～ V10.2.0	PG78188	以下の条件の時、フリーフレーム形式の帳票定義体で用紙の改ページ後、帳票定義体を切り替えて出力を行うと、異常動作(*1)となる問題を修正しました。 1. フリーフレーム形式の帳票定義体を使用する。かつ、 2. フレームの縦位置が0以外である。かつ、 3. フレームに含まれるパーティションを出力する。かつ、 4. “用紙の改ページ”を指定してプリンタ装置の制御を呼び出す。または、“出力して改ページ”を指定してパーティション出力を呼び出す。または、最終リンクフレームで“改フレーム”を指定して出力する。かつ、 5. 帳票定義体を切り替えて出力を行う。

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
			<p>*1:出力形態により、現象が異なります。</p> <p>以下は、2ページ目で帳票定義体を切り替えて出力した場合の結果です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VSPシリーズのプリンタへの印刷の場合(正常動作) 正常終了し、2ページ印刷されます。 • PostScriptプリンタへの印刷の場合(異常動作) 異常終了し、セグメンテーションフォルトが発生します。 • PDF出力の場合(異常動作) 出力処理が通知コード“9M”でエラー終了します。 <p>修正前の動作に戻す場合、環境変数“MEFTFRAMEPGSKIP”に“C”を指定してください。</p> <p>shの指定方法) \$ MEFTFRAMEPGSKIP=C;export MEFTFRAMEPGSKIP</p> <p>cshの指定方法) % setenv MEFTFRAMEPGSKIP C</p>
2	V10.1.0	PG77027	<ul style="list-style-type: none"> • 変更内容1 <p>以下の条件の時、本来、次行に送り出されるべきでない文字列が次行に送り出される問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矩形混在項目または矩形英数字項目のプロパティで「句読点のぶら下げ」または「行頭／行末禁則」のいずれかをONにした。かつ、 2. 「ワードラップ」をONにした。かつ、 3. 項目内のいずれかの行の末尾が空白である。かつ、 4. 3.の行末尾の空白の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の文字が2個以上連続している。かつ、 5. 4.の文字列の直前が空白文字である。かつ、 6. 5.の空白の前に空白以外の文字が存在する。 <ul style="list-style-type: none"> • 変更内容2 <p>以下の条件の場合、本来、複数行に分割されるべきでない文字列が分割される問題を修正しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 矩形混在項目または矩形英数字項目のプロパティで「行頭／行末禁則」をONにし「行頭および行末」または「行末のみ」を指定した。かつ、 2. 「ワードラップ」をONにした。かつ、 3. 項目内のいずれかの行でワードラップや行頭・行末禁則による追い出しが発生した。かつ、 4. 3.の追い出しを行ったあと、行末尾が空白となる。かつ、 5. 4.の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の行末禁則文字である。かつ、 6. 5.の直前がASCIIコードで0x21～0x7Eの範囲の文字である。かつ、 7. 6.の文字列の直前が空白である。かつ、 8. 7.の空白の前に空白以外の文字が存在する。 <p>[備考] 変更内容2については、実行時に、以下の環境変数を指定することで修正が有効となります。</p>

項番	V/L(*)	P番号	変更内容
			環境変数:MEFTWRAPCONTROL 設定値:2 shの指定方法) \$ MEFTWRAPCONTROL=2;export MEFTWRAPCONTROL cshの指定方法) % setenv MEFTWRAPCONTROL 2
3	V10.1.0	PG77029	以下の条件の時、List Creator のPDFフォント登録機能で登録したフォントが有効とならず、登録しようとしたフォント上の文字が「・」などで出力される問題がありました。登録した文字で出力されるようになりました。 1. List Creator のPDFフォント登録機能で、以下のフォントを登録し、そのフォントを指定した帳票をPDFファイルに出力する。 — FUJ明朝体 — FUJゴシック体 — @FUJ明朝体 — @FUJゴシック体

* : V/L は障害が存在する範囲を示します。

2.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境の互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.6 MeFt/Web

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.7 SIMPLIA/COBOL支援キット

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

互換に関する情報はありません。

2.8 PowerSORTの互換に関する情報

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

2.8.1 障害修正に関する互換情報について

ここでは、PowerSORT V6.0.0A(NetCOBOL V10.2.0)以降で修正された障害により動作が変わるものを以下の表で説明します。

表2.4 PowerSORTの障害修正に関する互換情報

項番	V/L(*1)	P番号	変更内容
1	V6.0.0 (V10.1.0)	PG76059	以下の条件の場合、PowerSORTが実行結果誤り、無限ループ、または異常終了することがありましたが、PowerSORT V6.0.0A(NetCOBOL V10.2.0)以降では、障害修正の吸収により正しく動作するようになりました。 1. bsortコマンド、bsortexコマンド、またはBSORT関数を使用している。かつ、 2. ソート機能を指定している。かつ、 3. テキストファイルCSV形式またはテキストファイルTSV形式を指定している。かつ、 4. レコード集約機能または出力ファイルのレコード選択機能を指定している。かつ、 5. 集約フィールドまたは選択フィールドがダブルクォーテーションで囲まれている。
2	V6.0.0 (V10.1.0)	PG76539	以下の条件の場合、PowerSORTが実行結果誤り、または異常終了することがありましたが、PowerSORT V6.0.0A(NetCOBOL V10.2.0)以降では、障害修正の吸収により正しく動作するようになりました。 1. bsortexコマンドを使用している。かつ、 2. テキストファイルCSV形式またはテキストファイルTSV形式を指定している。かつ、 3. 出力ファイルのレコード再編成機能を指定している。

*1 : V/Lは障害が存在する範囲を示します。また、()内のバージョンはNetCOBOL Enterprise Editionのバージョン・レベルを示します。

第3章 プログラム修正一覧

本ソフトウェアでは、以前のバージョン・レベルで発生した障害が修正されています。

ここでは、本バージョン・レベルで修正された修正番号および修正内容を説明します。

3.1 NetCOBOL開発環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

表3.1 NetCOBOL開発環境のプログラム修正一覧

項番	V/L(*)	P番号	現象
1	V10.1.0～ V10.2.0	PG81352	以下の環境および発生条件を満たす場合、Windows側のNetCOBOL StudioまたはInterstage StudioからLinux(64)サーバに接続したとき、「サーバへの接続に失敗しました」のメッセージが表示され、Linux(64)サーバに接続できません。 [環境] Linux(64)システムにて、IPv6を無効にしている場合。 [発生条件] 1. Linux(64)システムにて、enable-rds.shを実行してNetCOBOLリモート開発サービスを開始した。かつ、 2. Windows側のNetCOBOL StudioまたはInterstage Studioから、1のLinux(64)システムに接続しようとした場合。
2	V10.1.0～ V10.2.0	PG85632	以下の条件のとき、insdbinfが出力するCOBOLプログラムに誤りがあるため、NetCOBOLコンパイラが翻訳時に異常終了する、または、コンパイラが出力する行番号が正しくないことがあります。 [環境] 1. Pro*COBOLを使用している。 [発生条件] 1. Pro*COBOLを使用している。かつ、 2. insdbinfを使用している。かつ、 3. COBOLプログラム中に埋込みSQL文のINCLUDE文を使用している。かつ、 4. インクルードするCOBOLプログラムの一連番号領域に行番号を設定している場合。
3	V10.1.0～ V10.2.0	PG85966	以下の条件のとき、誤ったデバッグ情報ファイルが出力され、正しくデバッグすることができません。 [発生条件] 1. 翻訳オプションTESTを指定してCOBOLプログラムを翻訳している。かつ、 2. 原文名定数が指定されたCOPY文を記述している。かつ、 3. 2で取り込まれた登録集(*1)に原文名が指定されたCOPY文を記述している。かつ、 4. コンパイラが異常終了した場合(*2)。

項番	V/L(*)	P番号	現象
			(*1) 登録集が入れ子になっている場合は、最後の階層に至るまでのいずれかの登録集 (*2) 通常時のコンパイラが出力する翻訳時メッセージが出力されず、「0～3」以外の復帰コードが返却されます。
4	V10.1.0～ V10.2.0	PG86728	COBOLプログラムの翻訳時に、コンパイラが以下の不当な翻訳時メッセージを出力して、翻訳できなくなる場合があります。 「JMN5546I-S メソッド'mmmmm'のインタフェースは、再定義されるメソッドのインタフェースに適合していなければなりません。メソッド'mmmmm'は無効になります。」 [発生条件] 1. OVERRIDE指定のメソッド定義がある。かつ、 2. 1.のメソッドと親クラスに定義された同名のメソッドのUSINGパラメタまたはRETURNINGパラメタが以下の場合 a. メソッドのパラメタの一方が集団項目、もう一方は集団項目または英数字項目。かつ、 b. パラメタのサイズが一致する。

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

3.2 NetCOBOL運用環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

表3.2 NetCOBOL運用環境のプログラム修正一覧

項番	V/L(*)	P番号	現象
1	V10.1.0～ V10.2.0	PG83883	以下の条件の時、COBOLファイルアクセスルーチンの実行で以下のエラーが発生し、ファイルのオープンに失敗する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • エラー番号:FA_EFNAME(114) • 入出力状態:90 <ol style="list-style-type: none"> 1. COBOLファイルアクセスルーチンの入出力対象となるファイルが索引ファイルである。かつ、 2. ファイルをオープンするAPI関数(*1)に対し、以下の指定を行っている。かつ、 <ol style="list-style-type: none"> a. ファイル名を二重引用符で囲っている。かつ、 b. レコードキーリストにNULLポインタを指定(*2)している。 3. ファイルをオープンするAPI関数を実行した場合。 (*1) 対象となるAPI関数は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • cobfa_open

項番	V/L(*)	P番号	現象
			(*2) 本指定により、既存のファイルの索引構成とレコード形式、レコード長を認識してファイルをオープンします。
2	V10.1.0 ~ V10.2.0	PG84545	以下の条件の時、COBOLファイルユーティリティの復旧機能を実行すると、「システムエラーが発生しました。コード = 0x44」というメッセージが出力され、復旧処理が失敗します。 1. cobfrcovコマンドを使用している。かつ、 2. 未復旧データファイルにコンマ(,)を含むパス名を指定した場合。
3	V10.1.0 ~ V10.2.0	PG84546	以下の条件の時、cobfrcovコマンドの復旧処理が失敗し、以下の(a)のメッセージが出力されます。 また、復旧処理が成功した場合も、以下の(b)の現象が発生します。 a. 復旧すべきファイルが存在しません。 b. 意図しない名前のファイルが生成されます。 【発生条件】 1. cobfrcovコマンドを使用している。かつ、 2. 以下のいずれかの指定をした場合。 a. 復旧元の索引ファイル名に空白またはコンマ(,)を含む場合 b. 未復旧データファイル名に空白またはコンマ(,)を含む場合 【補足】 本障害の現象は、発生条件に応じて以下のとおりになります。 ・ 発生条件2-a: 現象-a ・ 発生条件2-b: 現象-b また、発生条件2-bに該当する場合、空白またはコンマ以前の文字列をファイル名とし、未復旧データファイルが作成されます。 なお、対象ファイルが既に存在する場合はエラーとなります。

* : V/Lは障害が存在する範囲を示します。

3.3 MeFtのプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- ・ NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- ・ NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

表3.3 MeFtのプログラム修正一覧

項番	V/L(*1)	P番号	現象
1	V10.1.0~ V10.2.0	PG78188	以下の条件の時、フリーフレーム形式の帳票定義体で用紙の改ページ後、帳票定義体を切り替えて出力を行うと、異常動作(*1)となる場合があります。 1. フリーフレーム形式の帳票定義体を使用する。かつ、 2. フレームの縦位置が0以外である。かつ、 3. フレームに含まれるパーティションを出力する。かつ、

項番	V/L(*1)	P番号	現象
			<p>4. “用紙の改ページ”を指定してプリンタ装置の制御を呼び出す。または、“出力して改ページ”を指定してパーティション出力を呼び出す。または、最終リンクフレームで“改フレーム”を指定して出力する。かつ、</p> <p>5. 帳票定義体を切り替えて出力を行う。</p> <p>*1:出力形態により、現象が異なります。</p> <p>以下は、2ページ目で帳票定義体を切り替えて出力した場合の結果です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VSPシリーズのプリンタへの印刷の場合(正常動作) 正常終了し、2ページ印刷されます。 • PostScriptプリンタへの印刷の場合(異常動作) 異常終了し、セグメンテーションフォルトが発生します。 • PDF出力の場合(異常動作) 出力処理が通知コード“9M”でエラー終了します。 <p>修正前の動作に戻す場合、環境変数“MEFTFRAMEPGSKIP”に“C”を指定してください。</p> <p>shの指定方法) \$ MEFTFRAMEPGSKIP=C;export MEFTFRAMEPGSKIP</p> <p>cshの指定方法) % setenv MEFTFRAMEPGSKIP C</p>
2	V10.1.0～ V10.2.0	PG78189	<p>以下の条件の時、帳票機能における1ジョブのログサイズの上限に達していないにもかかわらず、イベントログに警告が出力され、当該ジョブのログ出力が中止される場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレースログの格納場所(MEFTLOGROOT)が指定されている。かつ、 2. 組込みメディア、オーバレイ定義体、帳票定義体、プリンタ情報ファイルのいずれかのサイズが1,048,576バイト以上である。かつ、 3. ファイルサイズに関して以下の計算式が成り立つ。 $(\text{バイト単位のファイルサイズ} \div 65,536 \text{の余り}) \div 1,024 \times 1,024 > 1 \text{ジョブ単位の最大ログサイズ (MEFTLOGSIZEP)}$
3	V10.1.0～ V10.2.0	PG78696	<p>[現象1]</p> <p>以下の条件の時、カスタマバーコードの位置が最大で下に4mmずれて出力されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 帳票定義体にカスタマバーコードを定義する。かつ、 2. PDF出力を行った。 <p>[現象2]</p> <p>以下の条件の時、カスタマバーコードが指定範囲に対して上方にはみ出して出力されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 帳票定義体にカスタマバーコードを定義する。かつ、 2. カスタマバーコードに、以下を設定している。かつ、 <ol style="list-style-type: none"> a. カスタマバーコードの印刷方向が0° または180° で、バーコードの縦幅に「35dt(720dpi)」より小さい値を設定する。または、 b. カスタマバーコードの印刷方向が90° または270° で、バーコードの縦幅に「1979dt(720dpi)」より小さい値を設定する。 3. PDF出力を行った。 <p>当修正は、環境変数“MEFTPDFCUSTBARPOS”に“F”を指定することで有効となります。</p>

項番	V/L(*1)	P番号	現象
			shの指定方法) \$ MEFTPDFCUSTBARPOS=F;export MEFTPDFCUSTBARPOS cshの指定方法) % setenv MEFTPDFCUSTBARPOS F

3.4 Jアダプタクラスジェネレータ開発環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.5 Jアダプタクラスジェネレータ運用環境のプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.6 MeFt/Web

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.7 SIMPLIA/COBOL支援キット

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ

プログラム修正の情報はありません。

3.8 PowerSORTのプログラム修正一覧

ここに記載する情報は、以下の製品に適用されます。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

表3.4 PowerSORTのプログラム修正一覧

項番	V/L(*1)	P番号	現象
1	V6.0.0 (V10.1.0)	PG76059	<p>以下の条件の場合、PowerSORTが実行結果誤り、無限ループ、または異常終了することがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. bsortコマンド、bsortexコマンド、またはBSORT関数を使用している。かつ、 2. ソート機能を指定している。かつ、 3. テキストファイルCSV形式またはテキストファイルTSV形式を指定している。かつ、 4. レコード集約機能または出力ファイルのレコード選択機能を指定している。かつ、 5. 集約フィールドまたは選択フィールドがダブルクォーテーションで囲まれている。
2	V6.0.0 (V10.1.0)	PG76539	<p>以下の条件の場合、PowerSORTが実行結果誤り、または異常終了することがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. bsortexコマンドを使用している。かつ、 2. テキストファイルCSV形式またはテキストファイルTSV形式を指定している。かつ、 3. 出力ファイルのレコード再編成機能を指定している。

*1 : V/Lは障害が存在する範囲を示します。また、()内のバージョンはNetCOBOL Enterprise Editionのバージョン・レベルを示します。